

# 日刊 勤労千葉

86. 5. 17

No. 2242

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二二二七二〇七

## ソフトボール大会・軟式野球大会の組み合わせが決まる

### 5/12 主将会議 ひらかる サークル編

△ソフト

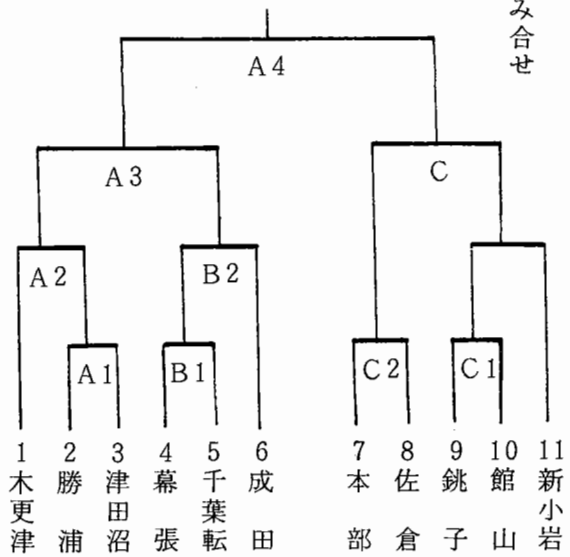
○大会日時 五月三〇日 九時開会式

○大会場所 天台県営スポーツセンター

軟式球場A・B、ソフトボール球場C

第一試合 九時三〇分スタート

○組み合わせ



★5月30日

## ソフトボール大会

★6月5、6日

## 野球大会

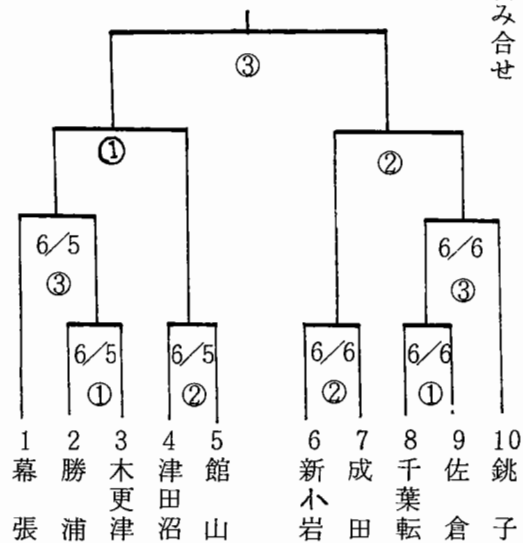
△野球

○大会日時 六月五、六日 一・二回戦

○大会場所 千葉市営公園球場

第一試合 九時三〇分スタート

○組み合わせ



# 投稿 良心の証明

## 「日常性」から踏み出したとき、なぜ、今、「天皇」「サミット」なのか

四・二九天皇式典、五・四サミット粉碎集会に参加して  
(天台家族会 Dさん)

一九四〇年から四一年の日米開戦の年に生れ出た私たちの世代は、その名も裕子、靖子、紀子、征子と同年の友の名を挙げたらきりが無い（天皇裕仁、靖国神社、紀元節、父の出征の一字をとって）、当時の親たちはわが子の名前さえ国のイデオロギーに従って付けざるを得なかったのではないかと、と説く人もいます。

軍歌を子守歌として育ち、父の召集、疎開、東京大空襲による家の焼失、復員した父を迎え、被災者・引揚者専用のアバラ屋で6・3・3・4制が施行された始めての年に小学生となり、見慣れぬ平仮名、シラミ退治の薬の散布に驚き、臭い脱脂粉乳、トマトジュースの「給食を下さるアメリカの兵隊さんに感謝し、天

皇陛下のいらっしやる東に向かつて「礼ノ」の教師の掛け声と「アメリカの兵隊さんありがとう」の作文を書かされ、貧富の差が歴然と評価された時代を生きて来た者として、ましてや夫の父を始め、何千万の殺された人々、当時の母たちの悔しさ、怒りを風化させてはならないと思う時、あの中曾根が主催する天皇式典・サミットに反対する二つの集会に参加出来た事は意義あることだと思ふ。都心は警官・機動隊だらけの不当検問の上に、「集会に行くなら列車を止める」と当局側が駅・構内・電車の中に配備した権力をものともせず、青空の下、連休浮かれの中、主流意識を吹き飛ばし連日のデモに足を痛めながらも元気はつらつ、冗談を言い合って参加した仲間のお父さんたちのエネルギーに感心させられながら、花咲き乱れる会場に私たちが待っていたのは全国から結集した

心ある人々の大きな拍手だった。祖父代々の国鉄を、三里塚の農地を、国のためと奪う中曾根が万才を三唱し園児に「天皇さまおめでとうございませう」等と言わせ、現人神として君臨した犯罪者が「祝ってくれてありがとう」なんて答えている様子がまことしやかに報道される現実を、リビアの様な小国を侵略したアメリカやテロ対策の名の下に加担したサッチャー始め、サミット参加国を私たちはただ眺めていて良いのだろうか。

ややもすると日常生活に追われ、目先の事に捕われて本質的な問題を避けがちだが、出来る限り多くの場に足を踏み入れ、いつの間にか気がついた時には真暗闇の戦争国家に、再び親たちの時代を繰り返さず、子を奪われぬように行動することが唯一、私たちの良心の証明だと感じた。